

平成31年度 学校自己評価システムシート

(県立秩父高等学校)

NO7

H31.4.25 職員会議資料

目指す学校像	礼節と主体性を備えた人材を育成し、地域の期待に応える活力ある進学校を目指す。
--------	--

重点目標	1 更なる授業改善に取り組み、主体的に学ぶ生徒の育成に取り組む。【学力向上】 2 高い志を育み、生徒一人一人の進路を実現させる。【進路指導】 3 積極的な情報発信を行い、地域の期待に応える学校づくりに取り組む。【開かれた学校づくり】 4 生徒一人一人に寄り添い、将来のリーダーとしてふさわしい礼節と主体性を備えた生徒を育成する。【知徳体を備えた人材育成】
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学校関係者評価			
年 度 目 標					31年度評価(2月1日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策	実施日 令和年2月 日
1	・現状 意欲的に、目標を持って取り組む生徒がやや増えてきた。全体的に学力が下がっている。 ・課題 学習に対するモチベーションを上げさせて、全体の学力を向上させる必要がある。	大学入試制度改革や新学習指導への対応を踏まえ、教員の指導力を高め生徒の学力を向上させる。	①アクティブラーニングをさらに増やして、生徒が主体的に学べる授業を展開して、考える力や表現力を育成する。 ②スタディサプリを有効活用して、効率的に基礎学力を定着させる。 ③新教育課程を編成し指導要領や大学入試改革についての教科会等を通して、新教育課程編成案を作成する。	①前年度よりアクティブラーニングを取り入れた割合が増えたか？ ②1年生の数学の基礎力が向上したか。 ③新教育課程(案)が編成できたか。				学校関係者からの意見・要望・評価等
2	・現状 将来の夢や目標の実現に向けてどのように取り組むべきかわからず、きめの細かい指導を必要とする生徒が多い。 ・課題 個人面談や進路関係の講演会、行事を充実させ、生徒の心に火をつける手立てを構築する必要がある。	生徒に高い志を持たせ、第一希望の進路を実現させる。	①個別の面談や、進路講演会などを組織的に実施し、生徒の目標を定めさせ、諦めさせない指導を実施する。 ②模試の検討会等を開催してデータを共有し、生徒の実力向上に活かす。 ③志望校検討会で情報を共有して、より高い目標を持たせて受験させる。	①生徒アンケートで「高い目標を持ち、妥協しない自分づくりに努めた」の回答が前年度より上昇したか。 ②模擬試験の結果が向上したか。 ③国立大学現役合格20名以上を達成したか。 第一希望とする進路を実現できたか。				
3	・現状 3年続けて定員確保することができなかった。 ・課題 地域の子供たちが減少していく中で、本校への入学を希望する生徒をいかに増やすか、魅力ある高校づくりが強く推進する必要がある。	本校の魅力をさらにPRして、入学者の定員を確保する。	①在校生の言葉で伝えるなど、効果的に情報発信するとともに、地域のイベントへの参加や部活動を通じて、本校の魅力を中学生や保護者に伝える。 ②学校説明会や個別相談会の内容を充実させて、中学校訪問や学習塾訪問を組織的に行う。 ③地域のイベントに参加したり、小学生対象のサイエンスアカデミーや中学生への学習支援など小中との連携をさらに深める。	①中学生への定期的な情報提供、HPの更新等、有効な広報活動を展開したか。 ②入学志願者倍率1.00倍を達成したか。 ③地域のイベントに参加した生徒が昨年より増えたか。				
4	・現状 元気な挨拶や品格を備えた秩父高校生としての振る舞いのできない生徒が少なからずいる。また、悩みを抱えカウンセリングなどが必要な生徒が増えてきた。 ・課題 部活動や学校行事への取り組みを充実させて生徒の主体性を向上させる必要である。	生徒の礼節と自主性を育む。	①「生徒努力項目」を励行し、教職員・生徒・家庭が連携し、特に整容指導については徹底を図る。 ②特別活動(部活動・学校行事等)をさらに充実させて生徒の自主性を一層育む。 ③支援委員会を中心に、カウンセリングに関する教員研修等を実施して、教育相談を充実させる。	①「規律ある学校生活」の項目が90%以上に達したか。 ②特別活動の自己評価が85%以上に達したか。 ③「先生方による相談対応」の項目で、生徒評価が前年度より上昇したか。				